

株式会社My Fit

医師と医療従事者のコラボによる
持続可能な更年期オンライン
診療事業の効果検証



22:19

LINE

個別相談予約

スケジュールを選択してください

< 前の週へ 次の週へ >

	03 (金)	04 (土)	05 (日)	06 (月)	07 (火)	08 (水)	09 (木)
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○	○
12:00	○	○	○	○	○	○	○
13:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
17:00	○	○	○	○	○	○	○
18:00	○	○	○	○	○	○	○

○ : 予約できます。 × : 予約できません。

ああ rospgcl9.autosns.app



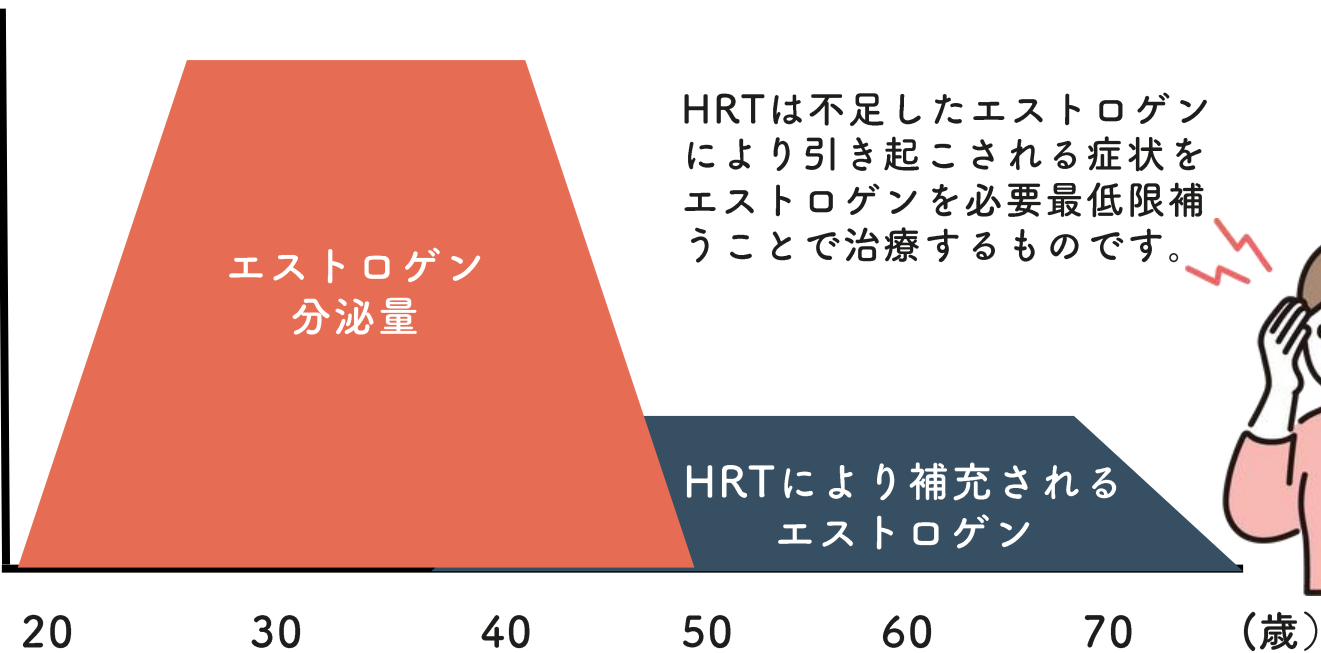
事業背景 -更年期とは-

- ・一般的に、閉経前後5年間・合わせて10年間の期間を更年期と呼ぶ。40歳を過ぎた頃から、男女問わずエストロゲンの分泌は不安定になる。特に女性の場合、エストロゲンは多くなったり少なくなったりと揺らぎながら減少する。この“揺らぎ”によって、ほてりやのぼせ、発汗、不眠など身体的・精神的不調が現れるが、この更年期に起こる不調こそが更年期障害と呼ばれる。
- ・40代女性の3人に1人、50代女性の2人に1人が更年期障害の可能性※1があり更年期症状に起因する経済損失は年間1.9兆円※2に至る。

更年期症状が起きる原理

年齢によるエストロゲン分泌量の変化と
補充されるエストロゲンのイメージ

エストロゲン分泌量



主な症状

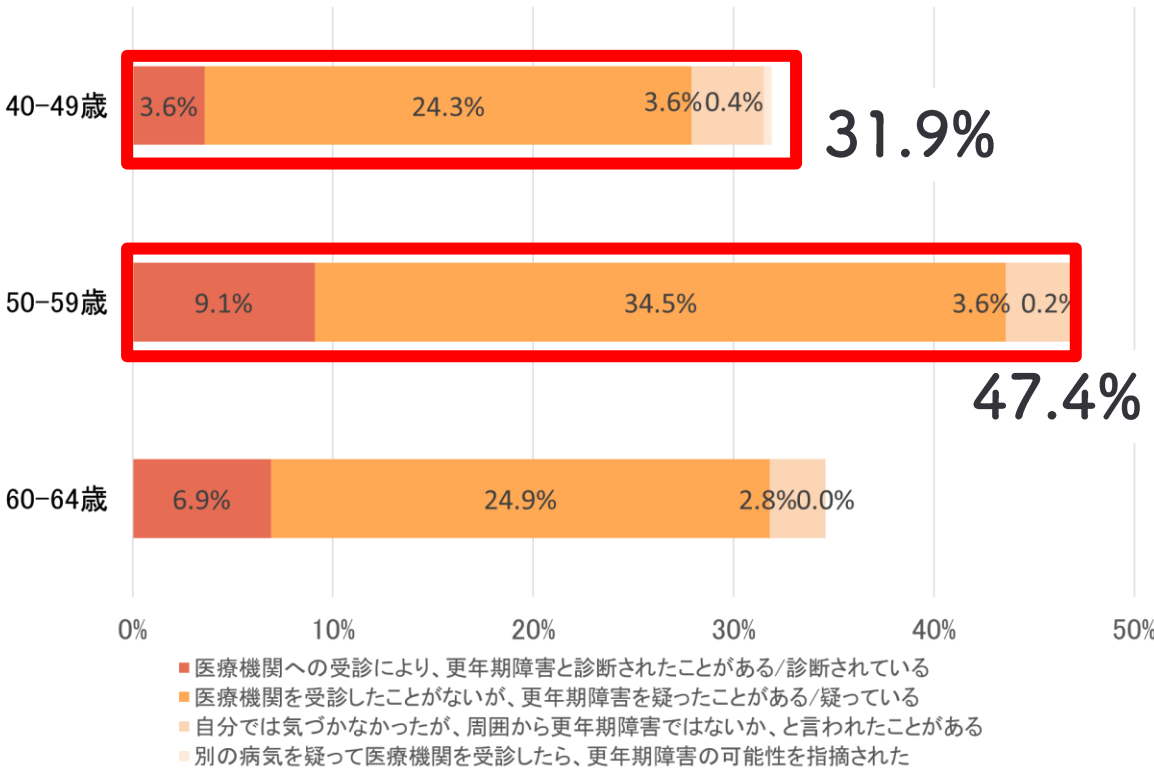
女性ホルモンの分泌が急激に減少しホルモンバランスが乱れることで起きる主な更年期症状を以下に記載

約100種類以上の症状がある

- | | | |
|--------|-----|---------|
| 記憶力の低下 | 頭痛 | うつ状態 |
| 発汗 | 肩こり | のぼせ、火照り |
| 冷え | 頻尿 | イライラ |
| 抜け毛 | 不眠 | 倦怠感 |
| 動悸 | めまい | 口の渇き |

更年期障害の可能性※1

40-50代の女性の内3-5割程度
更年期障害の可能性がある



※1 厚生労働省（2022）「更年期症状・障害に関する意識調査」

※2 経済産業省（2024）「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」

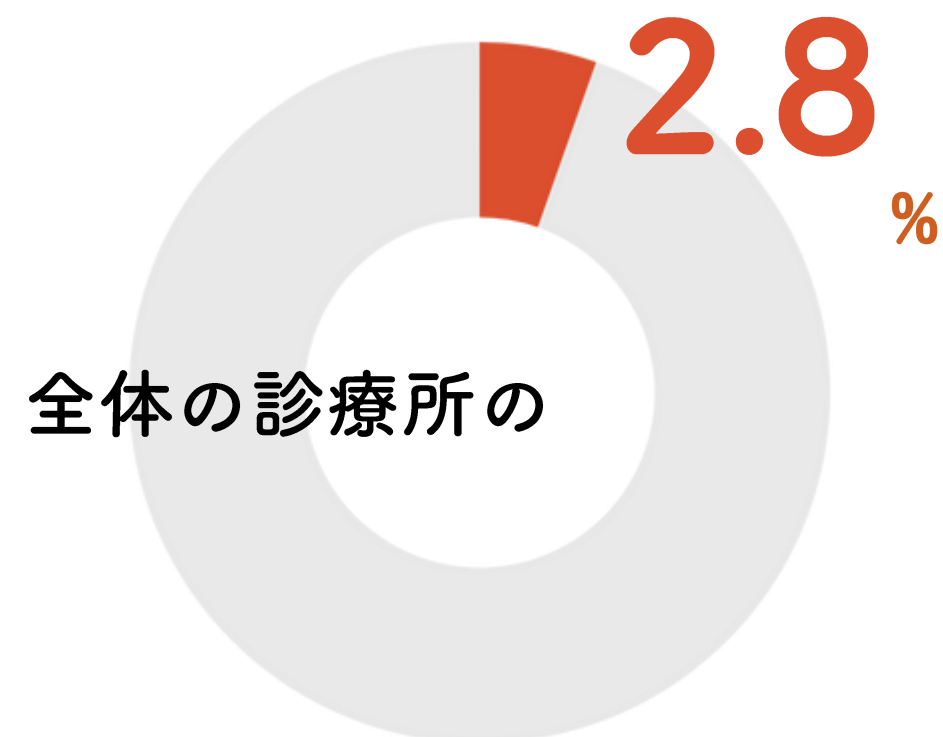
調査内では「その他」「考えたこと/疑ったことはない」の選択肢もあるが今回は上記選択肢のみを抜粋した

事業背景 -更年期治療に関する概況-

- ・診療報酬の低さや、お産・婦人科がんを優先的に対応しないといけない背景からも更年期障害を熟知している医師は少ない。
- ・更年期医学会は国際的な標準治療である、減少した女性ホルモンを補充するホルモン補充療法(HRT)を推奨している。

数少ない産婦人科クリニック

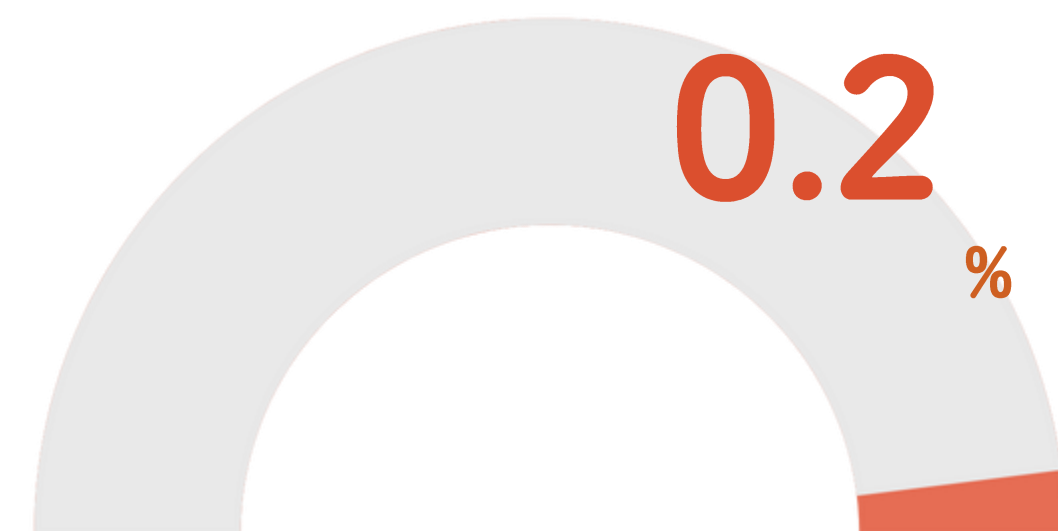
産婦人科を標榜する診療所は
全国に2,826施設しかない※1



更年期を熟知した医師は少ない

女性ヘルスケア専門医は約1,300名

更年期障害に深い知見がある
医師は医師全体の



※1 厚生労働省「令和2（2020）年医療施設（静態・動態）調査（確定数）・病院報告の概況

■ 事業目的

更年期症状に悩む女性に、適切な更年期治療を届けることで、健康を諦める人を減らす。

MYLILY
マイリリー

更年期障害特化のオンライン診療事業

- 01 スマホ一つで更年期障害を熟知した産婦人科医師による手厚い診察
- 02 HRTから漢方まで幅広い医薬品から処方
- 03 診療前後の継続的な症状データ取得により個別ケアを推進



実施項目とKPI

実施項目

- ・ MYLILYの診療・処方薬の服用・24時間の個別ケアサービスを2ヶ月間利用
- ・ MYLILY利用前後のアンケート回答

【実施方法】

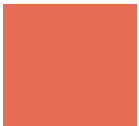
企業を通じて実証の案内。
対象者は更年期症状を抱える女性社員

参加企業：

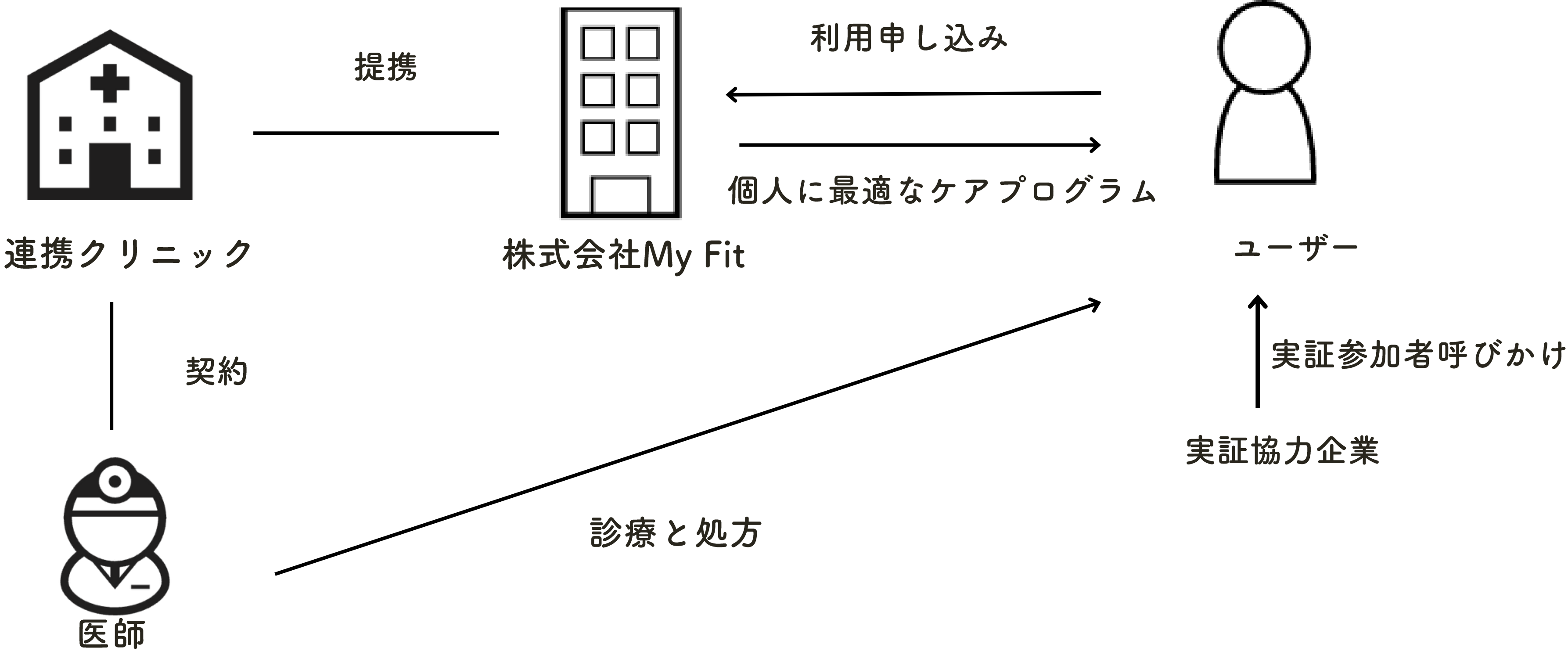
伊藤忠商事株式会社、オムロン株式会社、
株式会社バリュークリエイト、
株式会社丸井グループ、日本生命保険相互会社

KPI

- ・ 利用ユーザー230件
- ・ 「あなた自身についてうかがいます。過去4週間(28日間)の勤務日における総合的なパフォーマンスを、あなた自身はどのように評価しますか？0から10までの尺度から選んでください。」の診療前後の改善※80%の方が1ヶ月で改善することを目指す
- ・ MYLILY症状記録アプリでの症状変化の推移、80%が改善する
- ・ NPS 4.5(5点満点)

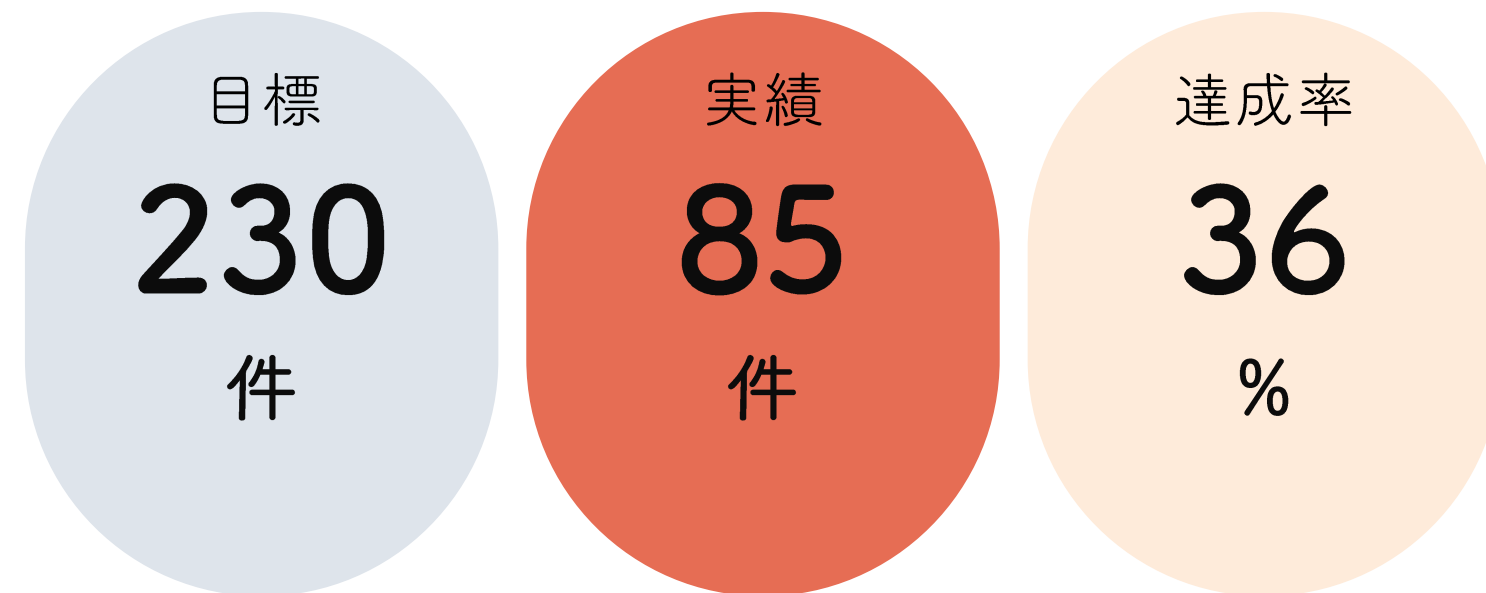


実施体制



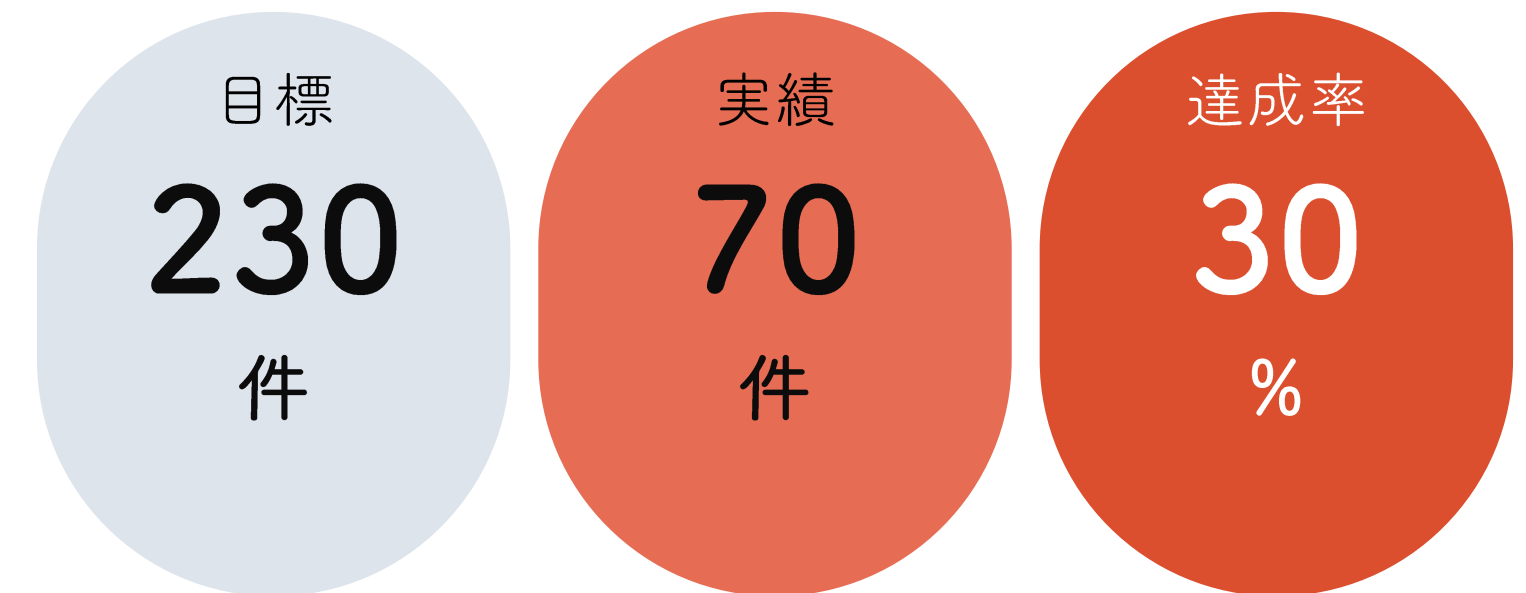
達成状況

実証事業登録数



現在、株式会社丸井グループ・伊藤忠商事株式会社・オムロン株式会社のみで上記の実績を達成。
今後、オムロン株式会社での呼びかけを強め、株式会社バリュークリエイトと日本生命保険相互会社での呼びかけを始める。

MYLILY利用者数



現在、MYLILYのオンライン診療まで実施済みが48件。
開始時期が10月半ばと遅れたため達成率に遅れが出ている状況である。

今後の見通しと展望

01

サービス利用までの促進

実証事業に申し込んでからMYLILYの利用開始するまでの期間が空いてしまっている



アンケート申し込みの後、動線がしっかりと引けていない可能性あり



アンケートの結果画面に診療予約ページへの遷移ができるようURLを追加。こちらからも催促する

02

利用申込者の拡張

最低目標の70件は到達しているものの100件超えはまだできていない



11月末まで実証に参加できる更年期女性への声かけを続ける

03

利用者の属性の偏り

実証参加者だと無料ということもあり、症状が曖昧な患者が多い。更年期症状なのか加齢による不調なのか、見極めが困難なため漢方が処方されがち



通常のサービス利用しているユーザーと実証参加者のユーザーの質が異なることが判明



通常のMYLILYのユーザーとの比較を出すことも本実証の効果測定としては重要なキーになると考える

01

参加企業の獲得

更年期障害のケアのニーズの緊急度や重要度が高くない現状を痛感しており、参加企業が増えるように増えていない。

“女性の更年期ケア”だけでは、企業にとって対象ユーザーが限定的であり導入ハードルもあると考える。

02

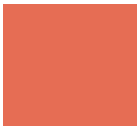
利用者の獲得

利用者を可能な限り増やしたいが、2ヶ月の参加期間と医薬品を処方されたい更年期症状を持つ40-50代の働く女性というところでTAMが小さく募集が難航している。



課題への対応策

	課題	施策
1	参加企業の獲得	・ 企業の費用負担が生じないようにして、リファラルもしくはイベントを通じたコネクションづくりを元に参加企業を集める
2	利用者の獲得	・ 既存の実証先に参加者を増やしてもらうよう再度依頼する。 ・ 企業からの流入だけでなく、リファラルやSNSを通じて働く女性にダイレクトにアプローチをして参加者を集める



今後のスケジュール

